

事務事業名	コード1	19500	環境衛生事務費	課	環境課		
	コード2		公衆便所等維持管理費	所属班	環境美化班		
施策体系	基本方針	2	快適でうるおいのあるまちづくり	電話番号	62-5329	内線	476
	施策	1	環境保全対策の充実	予算科目	会計		
	施策の展開	1	住み良い環境の確保	根拠法令	旭市公衆便所の設置及び管理に関する条例(西宮公園トイレのみ)		
	基本事業						

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成__年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成__年度～ 平成__年度まで ※全体像を記述→	旭駅・干潟駅・倉橋駅トイレの清掃・補修などの維持管理業務 (駅前トイレに関しては、平成23年度から環境課へ移管された) 西宮公園トイレの清掃・補修などの維持管理業務(開始年度不詳) 【業務の流れ】 旭駅・干潟駅・倉橋駅トイレ: 清掃委託業務公募型見積り合わせ→契約→業務委託4月1日開始、故障箇所の修繕を随時、光熱水費等の経費の支出 西宮公園トイレ: 清掃委託業務見積り合わせ→契約→業務委託4月1日開始、故障箇所の修繕を随時、光熱水費等の経費を支出

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績) 単位:千円		単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
1. 光熱水費	821: トイレ使用にかかる光熱水費	千円	846	869	821	852	
2. 修繕料	132: 故障箇所の修繕にかかる費用	千円	195	18	132	180	
3. 清掃委託料	1,195: 清掃委託にかかる費用	千円	1,293	1,235	1,195	1,229	
4. 下水道使用料	250: 旭駅、西宮公園トイレにかかる下水道使用料	千円	262	281	250	264	
5. その他	113: 消耗品費、手数料、保険料、浄化槽維持管理委託料	千円	124	109	113	139	
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績) 単位:時間		事業費計(A)	千円	2,720	2,512	2,511	2,664
公募型見積り合わせ依頼(契約)		うち一般財源	千円	2,720	2,512	2,511	2,664
故障箇所の修繕(洗面台のつまり等直せるものは、環境課で実施)		正規職員従事人数	人	0.19	0.19	0.19	0.19
光熱水費等の支出(伝票作成)		延べ業務時間	時間	384	384	384	384
		人件費計(B)	千円	1,459	1,459	1,459	1,459
		トータルコスト(A)+(B)	千円	4,179	3,971	3,970	4,123

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) 清掃委託業務の見積り合わせ及び契約 故障箇所の修繕 26年度計画(26年度に計画している主な活動) 清掃委託業務の見積り合わせ及び契約 故障箇所の修繕	ア 駅清掃回数(3駅延べ数) イ 西宮公園清掃回数 ウ 修繕箇所数	回数	555	555	555	555
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	旭駅・干潟駅・倉橋駅・西宮公園トイレ	ア トイレ(維持管理施設)の数	箇所	4	4	4	4
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	常時清潔に利用できる状態に保たれる。	ア 公衆トイレに関する苦情件数	回数	12	7	6	5
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	快適都市空間 市民にとって住み良い環境の確保につながる。	ア 公衆トイレに関する苦情件数	回数	12	7	6	5

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
不明	旭駅トイレが新築されたこともあり、利用者が増加している。	特段意見等はない。 適正に管理されているものと思われる。

事務事業名	環境衛生事務費 公衆便所等維持管理費	課名	環境課	班名	環境美化班
-------	-----------------------	----	-----	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒[理由] ↷ 公衆便所を清潔に保つことは、「住み良い環境の確保」に結びついている。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒[理由] ↷ 環境課が所管する公衆便所を常時清潔に利用できる状態に保つため、必要な維持管理を実施するものであり、対象・意図ともに適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由] ↷ 市が設置したトイレであるため、市が清潔に維持管理することは妥当である。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由] ↷ 便器・洗面の不具合が主な苦情のため、多少の苦情は残るのが現状であるが、苦情数は減少傾向にある。年間を通じて苦情件数は1桁で抑えられており、水準として妥当であると考えられる。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒[理由] ↷ 現状、清掃は適度に実施しており、修繕についても対応しているため、成果も妥当な水準にあるため、これ以上清掃回数等を増やしても費用に見合った成果の向上は見込めない。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：(商工観光課・都市整備課のトイレ維持管理業務) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒[理由] ↷ 利用客層やトイレ設置場所によりすみ分けをして各課で既に連携して管理している。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由] ↷ 公衆トイレは、毎日利用され、常に監視できるものでないため、汚れや不具合等が生じてしまう。そのための管理費や修繕費であるので、これ以上の経費削減は難しいと思われる。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由] ↷ 清掃など委託できるものは既に委託で対応しており、今以上の業務時間を削減するのは難しい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒[理由] ↷ 利用者の制限を行っていないため公平・公正である

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	快適・清潔な生活環境の保持のために、今後も公衆トイレの維持管理を継続していく。
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
いつまでに	いつまでに																						
現状維持	現状維持																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
快適・清潔な生活環境の保持のために、今後も公衆トイレの維持管理を継続していく。																							